

3 マングース <食肉目、ジャコウネコ科、エジプトマングース属>

和名：ジャワマングース

英名：Javan mongoose

学名：*Herpestes javanicus* (E.Geotroy,1818)



【ジャワマングース】

(財) 自然環境研究センター提供

(1) 動物の特徴と同定

分布：マレー半島、インドシナ半島、スマトラ、ジャワ

特徴：体色は薄い灰褐色、褐色に黒褐色の細い斑点がある。尾は体長より短い。

体長：29～40cm

尾長：23～29cm

体重：（オス）0.6～1kg／（メス）0.4～0.6kg

習性等：

- ・昼行性でヘビ、トカゲ、ネズミ、昆虫やサソリ等を餌としている。
- ・妊娠期間は42日程で、1産1～2仔。
- ・3～5亜種が知られており、日本に移入されたとされる種類フイリマングース（ヒメインドマングース<*Herpestes auropunctatus*>）と同種とされる説もある（G.B.Corbet & J.E.Hill）。
- ・ネズミ退治を目的に世界各地（ハワイ、フィジー、カリブ海の島々、南アメリカ、ユーゴスラビア、モーリシャス、東アフリカ等）に移入された記録がある。
- ・我が国には1910年インド、ガンジス川河口で捕獲された個体がハブの駆除を目的に沖縄に放たれ野生化した。1979年には奄美大島においても野生化している個体が知られるようになった。我が国固有のヤンバルクイナ、アマミノクロウサギがマングースによる食害を受ける影響が出ている。

(2) 保定とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

マングースは攻撃的な性格で鋭い歯を備え、体が柔らかくてすばしこいため、素手で扱うことは避ける。

B 器具を使用した保定法

玉網を使って捕獲する。網の目が大きすぎると、網の目を掻い潜り逃げてしまうので、頭が出ない目の細かい網を用いる。捕獲後、厚手の革手袋か金属メッシュの手袋をはめ、頭の付け根を親指と人差し指でしっかりと確保し、次に四肢を確保する。保定できたら、玉網と一緒に、あるいはジャワマングースを網から出して、診療台上で横臥とする。



【器具を使用した保定法】

C 特に注意すべき事項

マイクロチップの埋込み可能時期は離乳後（生後2ヶ月）を目安とする。

麻酔薬は、筋肉内に投与できる薬を選択する。ケタミン15mg/kg 筋注、ケタミン15mg/kg 筋注 + ジアゼパム 0.1mg/kg 筋注、ケタミン5mg/kg 筋注 + メデトミジン 100mg/kg 筋注などの組み合わせで不動化効果が得られる。

玉網でジャワマングースを捕獲し、網の上から咬みつかれないように頭を保定したうえで、筋肉量の多い臀部筋肉に投与する。

ジャワマングースが小さなケージに収容されているなら麻酔導入箱にケージごと収容し、ハロセンやイソフルレンを吸入させる。十分脱力したら麻酔箱から出し、マスクにより麻酔を維持する。

麻酔中の管理は、呼吸数、体温、心拍数をモニターするなど定法に従う。暗い静かな部屋や箱に閉じ込めると麻酔からの回復がスムーズとなる。

イ マイクロチップ埋込みの方法

A 埋込みの部位

左右の肩甲骨間皮下に埋込む。

B マイクロチップ埋込みの実際

玉網に入れたままマイクロチップを埋込むときは、床上で、頭の付け根をしっかりと持って横臥姿勢とし、網の目から注入器の針を左右の肩甲骨間に刺入する。診療台に乗せることができるなら、頭の付け根をつかみ横臥姿勢とし、注入器の針を上記皮下に刺入する。

刺入部位はイソジン綿か70%アルコール綿で消毒し、マイクロチップ埋込み後は、刺入部に外科用接着剤を塗布してマイクロチップの脱落を防止する。